

## 5) 新分野製品の開発

### 5 - 1 ノベルティ

川久保 正行・藤 靖之

ノベルティ産業の継承の必要性を認め、製品開発及び人材育成を目的に、肥前地区独自のノベルティ産業の確立を図ってきた。今回、有田焼人形のブランド確立を目指し、雛人形の五段までの開発を行い、町おこし事業に協力した。

#### 1. はじめに

過去、肥前地区窯業界において、庶民生活、風俗をモチーフにした古伊万里人形等多くのノベルティ製品が生産された。しかし、近年はノベルティ製品の生産のほとんどが、干支の置物、仏像彫刻、ミクロス等である。

このような背景と業界からの強い要望もあり、当センターでは、ノベルティ産業の継承の必要性を認め、平成 16 年にノベルティ研究会を設立し、製品開発及び人材育成を目的に、肥前地区独自のノベルティ産業の確立を図ってきた。平成 17 年、有田町おこしとして雛人形製作の依頼があり、ノベルティ研究会と共同で、雛人形七段飾りの二段まで製作した。18 年度は、三段から五段までを製作し、有田雛のやきものまつりに展示し、有田町おこしの支援を行った。



#### 2. 試作

平成 17 年度、町おこしを目的に、多くの集客ができるように「見せる雛人形」を研究会メンバーと企画、検討し、世界最大級の座り雛七段の上二段を製作した。今年度は、三段から五段までの製作を行った。(五人囃子、右大臣、左大臣、仕丁(3体)の計 10 体の人形、お膳、菱台、右近の橘、左近の桜等道具類の製作)また、三五雛、武者人形を製作し、後継者育成を目的に、窯業大学校絵付け研修生 4 名による絵付けが行われた。



ノベルティ研究会検討会風景

### 3.展示

・「第3回 有田雛のやきものまつり」記者発表

期日 平成18年1月19日(金)

場所 株ヤマトク

(有)しん窯

内容 有田雛のやきものまつりのイベント内容紹介  
世界最大磁器の座り雛(五段)お披露目



(有)しん窯



記者発表風景



株ヤマトク

・第2回 有田雛のやきものまつり

期日 平成18年2月4日(日)~3月11日(日)

場所 有田館および有田町内

内容 世界最大の磁器の雛人形展示

磁器製雛人形七段飾りの展示

子供用食器の企画展

イベントのマスコット犬笛グッズの展示販売



(株)香蘭社



パンフレット



窯業大学校絵付け研修生



(株) 香蘭社

#### 4.おわりに

ノベルティ研究会においては、雛人形の開発、有田町おこしについて年8回の協議、検討会を行った。有田雛のやきものまつりにおいて、研究会メンバー2社(しん窯、ヤマトク、)による、座り雛五段飾りを製作、展示され、三五雛、武者人形については、香蘭社、窯業大学校で絵付けがなされ、展示された。その他、17年度製作した立ち雛、16年度製作した、小型の七段飾り、センターより企画提案を行った子供用食器(各企業の製品を一堂に展示)が展示された。またイベントマスコット「犬笛」の展示、販売がなされた。

また、テーブルウェアフェスティバル2007(東京ドーム)においては、[世界最大級の磁器製 座りびな]と銘打って、17年度製作された、座り雛二段飾りが展示された。

食に関しては、有田雛御膳を提案され、町内9ヶ所の御食事処で、有田名物「ごどうふ」を盛り込んで展開された。今回有田館を中心に、他10ヶ所で雛人形の展示が行われ、期間中、有田館入館者数は、約1万6千人あり、全体で2万5千人の人出があり、昨年の1.4倍の集客があった。(昨年より1ヶ月程度展示期間が短縮) 広報実績として、テレビ、ラジオ、新聞等の取材がなされ、また旅行業者の対応も多く、集客にもかなりの効果があった。

町おこし事業支援としては、大成功であった。今後、座り雛七段セットを完成させ、支援を行う予定である。



子供用食器の提案((有)しん窯)

名称 テーブルウェアフェスティバル2007  
 日時 平成19年2月3日(土)~12日(月)  
 場所 東京ドーム「温故創新~有田~」